

岩手医科大学歯学部同窓会
兵庫県支部20周年記念誌



「岩手山と医大全景」

醫
齋

2007

岩手医科大学歯学部同窓会

兵庫県支部20周年記念誌

醫
齋

2007

目 次

20周年記念誌発刊にあたって	支 部 長 姫野 俊昭	1
20周年記念式典		
式典次第		4
来賓ご芳名		5
開式の辞	副 支 部 長 菊池 史郎	6
式 辞	支 部 長 姫野 俊昭	7
来賓祝辞	日本歯科医師会 副会長 箱崎 守男	8
	兵庫県歯科医師会 会長 橋本 猛伸	10
	岩手医大歯学部同窓会 会長 藤田 達夫	12
	圭陵会兵庫県支部 支部長 浅井 継	13
兵庫県支部の歩み	理 事 鈴岡 隆	14
閉宴の辞	副 支 部 長 平瀬達次郎	15
兵庫県支部 年表		17
支部会写真集		23
会員寄稿		31
会員名簿		47
歯学部同窓会兵庫県支部 会則		50
役員紹介		52



20周年記念誌発刊にあたって

岩手医科大学歯学部同窓会 兵庫県支部

支 部 長 姫 野 俊 昭

支部設立20周年に当たり、記念誌を発刊することとなりました。

時の流れの速さ、重さを心から実感し、また驚いております。本当に色々な事がありました。未曾有の震災、会員のご逝去、先輩の日歯、県歯でのご活躍など、多くの思い出とともに20年が過ぎてまいりました。

我々の母校は遠方にあります。私自身の経験からも、卒業後、兵庫県に帰って参りました時、就職や研修などで大変苦勞した事を思い出します。そんな時に相談が出来る同窓会が兵庫県にあればとつくづく思ったものです。開業などの問題についても相談できる、肩を組み合わせる親しみやすい同窓会が、我々にも、またこれから卒業してくる後輩にとっても必要である事は言うまでもありません。特に歯科医師過剰問題や点数改定による経営の圧迫など、低迷する歯科界の中で上下関係なく同じ目線に立って相談できる同窓会が、これからも特に必要な時代になってくる様な気がしてなりません。

20年を振り返りますと、同窓会が苦境に立たされた事もありました。そんな時、同窓会本部の諸先輩、県、郡市区歯科医師会の先生方のアドバイスやご支援が本当に温かく感じられました。20周年を迎えて、同窓会の価値、20年の重みを再度認識し、30周年、40周年を目指して団結し、活躍していかなければと思っております。

我々の同窓会は35名足らずの会員数ですが、兵庫県や郡市区歯科医師会では他大学と同等に温かいお付き合いを頂いております。常日頃のご指導、ご鞭撻に対しまして、この期を迎えるにあたり心から感謝とお礼を申し上げ、発刊のことばと致します。

平成19年 3 月 吉 日

岩手医科大学歯学部同窓会
兵庫県支部
設立20周年記念式典

平成18年7月9日

新神戸オリエンタルホテル



式典次第

司 会 専務理事 坂井 諭

開式の辞 副支部長 菊池 史郎
 式 辞 支 部 長 姫野 俊昭

来賓紹介

来賓祝辞 日本歯科医師会 副会長 箱崎 守男
 兵庫県歯科医師会 会長 橋本 猛伸
 岩手医大歯学部同窓会 会長 藤田 達夫
 主陵会兵庫県支部 支部長 浅井 継

感謝状贈呈

祝電披露

支部の歩み 理 事 鈴岡 隆
 閉式の辞 理 事 有本 真也

[記念撮影]

祝宴次第

司 会 理 事 柳 治夫

乾杯の辞 前支部長 加子大二郎

会員紹介

校歌斉唱

閉宴の辞 副支部長 平瀬達次郎

来賓ご芳名

(順不同)

日本歯科医師会 副会長

箱崎 守男 様

兵庫県歯科医師会 会長

橋本 猛伸 様

兵庫県歯科医師会 専務理事

村上 英夫 様

岩手医大歯学部同窓会 会長

藤田 達夫 様

圭陵会兵庫県支部 支部長

浅井 継 様

当日出席支部会員

(2期) 加子大二郎・(3期) 阿曾寿尚・姫野俊昭・(4期) 柏原敬博
(5期) 菊池史郎・(6期) 平瀬達次郎・(7期) 宍戸秀行・鈴岡隆・三池賢二
(8期) 柳治夫・(10期) 浜口雅明・(17期) 安藤雅文・坂井ひろみ
(18期) 坂井諭・杉本光昭・山崎学・(20期) 林祐介・(22期) 有本真也
(24期) 橋本誠一・(25期) 鎌田真砂史・熊谷洋一・長谷川孝・村松弘康
(26期) 安藤浩司・中東航・(27期) 田中宏幸・飛田順平・(29期) 櫻根誠一郎

開式の辞

本日は岩手医科大学歯学部同窓会兵庫県支部設立20周年記念式典に多くの先生方にご参会頂き誠に有難うございます。そして大変お忙しい中ご臨席を賜りましたご来賓の先生方に厚くお礼を申し上げます。

兵庫県支部は20年前に加子大二郎先生のもと、母校から遠く離れて10名あまりの会員でスタートしたわけですが、現在は会員数30名を超え、また兵庫県歯科医師会や各地方会で要職を務める先生方を輩出し、設立当時には想像も出来なかった状況であります。

厳しい歯科界の状況が続く中、同窓会の役割は重要性を増しております。会員の先生方には今後ともご理解とご協力をよろしくお願い致します。

最後になりましたが、日本歯科医師会副会長 箱崎先生、並びに兵庫県歯科医師会会長 橋本先生はじめご来賓の先生方に、これまで以上のご指導をよろしくお願い申し上げます。開会のご挨拶とさせていただきます。

副支部長 菊池 史郎



「歯学部」



式 辞

岩手医科大学歯学部同窓会 兵庫県支部

支 部 長 姫 野 俊 昭

20年、先を思えば長く、振り返れば短い年月であります。昭和50年、私が神戸に帰って参りました頃は先輩も大変少なく、1期の難波和之先生が大阪大学歯学部在籍されており、私が時折、盛岡の話をしたくなったり、何かと大学の事について相談する事があれば大阪に先輩を訪ね、酒を酌み交わしながら朝まで語り合った事を今、懐かしく思い出します。

それから何年か過ぎ、大阪にも十数名の同窓生が帰ってまいりまして、大阪、兵庫、和歌山が合同で年に一回、大阪で難波先生を中心に集まるようになり、やがて近畿支部が発足したわけでありました。それから5年程経ち、昭和59年、当時、徳島大学歯学部の助教授で、本日ご臨席頂いております2期の加子大二郎先生が退任され、神戸市北区で開業されると聞き、早速お会いしました。それから加子先生を中心に12人程が神戸で集まるようになり、その内、兵庫県支部を作ろうという気運が高まり、そして昭和61年9月20日、旧オリエンタルホテルにて兵庫県支部発会式を行いました。当時の兵庫県歯科医師会会長村井先生をお迎えし、大学本部からは鈴木教授、菅原助教授、同窓会長等、多数の来賓の先生方が、遠路ご臨席下さいました。

それ以来、加子会長が東奔西走され、兵庫県では当時、岩手医大に歯学部が有ることすら知らない会員が多い時代でありましたが、名前を知って頂き、県歯では社保委員会でも活躍されたそのご尽力には頭が下がる思いが致します。

その後、平成9年に私が過分ではありますが、支部長を引き継がせて頂きましたが加子前会長の半分も貢献できなかった様な気が致しております。今日まで色々楽しい思い出もございしますが残念ながら、会員一名のご逝去という悲しい出来事もございました。また平成7年には未曾有の阪神淡路大震災を経験しまして、その際には同窓会本部からの温かいご支援と見舞金を持って、手分けして同窓会員を訪れた事が有りました。

私は時折、同窓会の意味価値について考えることがございます。皆様ご存知のように歯科医師会というのは日本歯科医師会から始まり、末端の会員に至るまで日本歯科医師会で決定された事が速やかに正確に伝達される、世界でも素晴らしい組織であります。

一方、同窓会というのは何かと考えたとき、例えば卒業後久し振りに同窓生に会ったとします。そうしますとすぐに大学の時の話、同級生の話とすぐに学生時代にタイムスリップできます。それが我々の今の歯科医業を支えている共通の原点であります。

歯科医師会という縦の組織と、同窓会という横の組織がバランスよく組み合わせることによって我々の歯科医療、生活そのものがしっかりとバックアップされているのではないのでしょうか。このかけがいのない同窓会という組織をこれからもしっかりと維持していくことが現在の我々にとって大切な義務だと思う次第であります。

最後になりましたが、我々は35名という少数の同窓会ではありますが、会員一人ひとりが兵庫県でしっかりと歯科医療に頑張っております。どうかこれからも今までと相変わりませずご指導、ご鞭撻をお願い致します。



ご 祝 辞

日本歯科医師会

副 会 長 箱 崎 守 男

只今ご紹介頂きました箱崎でございます。

今、肩書きは日本歯科医師会副会長でございますが、私も岩手医科大学歯学部の卒業で1期生でございます。何人かの先生方とは久しぶりにお目にかかる機会を与えられたと言うことで、まずもって御礼申し上げます。

先ずは兵庫県支部発足20周年、本当におめでとうございます。今、姫野先生からお話有りましたように加子先生が設立されて、そしていろんなご苦労が有ったと思います。そのご苦労のあった20年という歴史の中で、先生方が色々と手を携えながら本日まで、こうやってやってこられたという事に対しては心より敬意を表したいと思います。

実は私、1期の卒業で、今、盛岡で開業しております。岩手県は今、700名弱の会員がおりますが、岩手医大の卒業生はもう6割に達しております。半数以上が岩手医大の卒業生でございます。ということは、もうどこへ行っても岩手医大の卒業生みたいなもので、学閥という発想はもう全く無くなっております。どこの学校かという感覚も無いくらいの状況になっております。そういう状況はおそらく岩手だけであって、それに近いところが、北海道、宮城、

秋田、青森、この岩手を中心とした近県では同窓生の先生方が非常に多いので、有る意味では非常に心強いというか、色んな情報交換とか、面倒見てもらっているとかが出来る立場にあります。

ただ先生方のように盛岡の地を遠く離れて開業なされた先生方、私、色々と全国を回らせて頂いた中では兵庫県支部と、広島県支部の先生方が多くない人数のまとまりが非常にいいという感じを受けております。是非これからも姫野先生を中心にして、手を取り合って頑張りたいと思います。

本日は、兵庫県歯科医師会から橋本会長、村上専務がご列席頂いております。私からも、先輩という立場から、一つ両先生には私共同窓生、どうぞ、末永く面倒見て頂くように高い席からではございますが、お願い申し上げたいと思います。

実は私、地元で同窓会の先生方にお話しする事が一つございます。それは同窓会というのは、やはり一つの釜の飯と言っちゃあれですが、一つの学校を出た中ですね、やはり相通じるものがあると、その相通じる物のなかで、いわゆる、先輩、後輩がございます。私、常に申し上げているのは、先輩は後輩の面倒を見なさいと、後輩の面倒を見てくれと、じゃあ、後輩はどう

するかと、後輩は先輩を利用してくれと、後輩の面倒をみれないような先輩は、先輩面をするなど、ということ、常に集まりの際には申し上げております。当然、大学でいわゆる教わらなかったと言いますか社会保険含めて医療管理、いろんな問題が、活字に乗らない部分とか色んな部分が覚えなければならない、開業した時点で、そういった部分のいわゆる指導なり、面倒を見るのはやはり先輩だろうと、そういう風に私は思っております。小さなこの地域の中で、同窓会の役割は色んな役割が有ろうかと思いますが、やはり先輩が後輩の面倒を見てあげることが、まとまりの一つのきっかけになるのではないかと思います。是非、姫野支部長、あるいは先輩の先生方はその辺を勘案頂きたいと思っております。

いずれ、この兵庫県において35名の先生方、またこれからたぶん増えると思いますが、そんなには増えないでしょう。確か兵庫県、三千数百名ですね。歯科医師数が。パーセントにすれば1パーセントでございます。1パーセントの先生方ではございますが、多分その中にキラリと光る先生方もおられると思います。兵庫県の会長、専務もおられますので、そのキラリと光る先生方を導いて頂いて、この岩手医大歯学部 of 兵庫県支部にも光を当てて頂ければと思います。

今後、益々、この兵庫県支部が発展致しますと共に、先生方のご健勝を祈念申し上げます。有り難うございました。本日は本当におめでとうでございます。



「教養部」



ご 祝 辞

兵庫県歯科医師会

会 長 橋 本 猛 伸

7月に入りました。暦の上では一昨日が『小暑』で、これはもう夏のイメージですが、実際は、まだ梅雨が明けておりません。湿度の高い、蒸し暑い日が多くなっております。先生方には、時節柄、どうかご自愛頂き、本格的な夏の到来に備えて頂きたいと存じます。

それでは、一言、お祝いの言葉を申し述べさせていただきます。本日、茲に、岩手医科大学歯学部同窓会兵庫県支部設立20周年記念式典を挙行されましたこと、心よりお祝い、お慶び申し上げます。また、平素より、姫野支部長はじめご参集の皆さま方には、兵庫県歯科医師会会務運営に多大のご理解、ご協力を頂いておりまして、高い所からですが、本席をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

さて、日本経済は、空白の15年を乗り越えて、戦後最長の好景気と言われるまでになりましたが、わが歯科界は、世の中の好況感から取り残されて、浮かび上がる糸口さえ見つけることができません。

せっかくのお目出度い席ではございますが、先日、兵庫県の4月の社保、国保の平均収入が出ましたので、ご報告申し上げます。対前年比、マイナス6.2%という数字が出ました。改定率の、マイナス3.16%の約2倍の落ち込みになっていまして、5

月、6月と、このまま推移するとすれば、とても黙って見過ごすわけにはいきません。先生方、それぞれに、今回の点数改定の大変さを実感しておられると思いますが……しかし、ここで、怯んではられません。では、現状を打開し、これまで以上に国民歯科医療保健を守っていくためにどうするのか……ということになりますが、やはり、われわれ歯科医師の考えや思いというものを、どうしても、国策に反映しなければならぬ……ということ、今回は、特に、痛切に感じています。

国策に反映するためには、やはり、政治家の手を借りなければ成しえません。やはり、連盟活動が必要です。確かに、これまでの連盟活動そのものには、いろいろと問題があります。特に、日歯連盟がコンプライアンスを無視した活動をしたために、今回の結果を招いたといえますが、今回の点数改正作業の中で、一切の交渉を排除されたことが、傷口を大きくしました。従いまして、こうした状況を打破していくために、国政・県政・市政の場で、私たちの声を、しっかりと国策や県、市の施策に反映できる方に、私たちの立場を理解してもらうしかないと思っています。

何をいまさら……と言われるぐらい当たり前の話ですが、もちろん、私たちは、国

民との信頼関係を取り戻すことを第一としたうえで、今回、ズタズタにされかかっている歯科医師としてのアイデンティティを取り戻していくために、新たな何かを始めなければならぬと思っています。

高齢社会、長寿社会の日本で、人々が、健康で、明るく楽しい人生を全うしていくためには、必ず、歯科医師が果たすべき役割があるんだと、私は、そのように信じております。幸いと申しましょうか、本日、ご臨席の日本歯科医師会副会長であられます箱崎先生、そして大久保会長をはじめとします日歯新体制により、厚生労働省も、ようやく門戸を開いて、聞く耳を持ち始めたやに仄聞しております。そういう意味では、日本歯科医師会が果たすべきこれからの役割が、たいへん重要な意味を持ちますが、これまでは、日歯も孤独な戦いを続けていました。長年、日歯代議員会を見ているのですが、都道府県は日歯を批判し、叱咤し、攻撃するばかりで、建設的で具体的な意見集約ができず、ともに戦っていかうという雰囲気がありませんでした。これは長年続く、なぜか不思議な現象とでもいえるべき悪しき歴史です。日歯の大久保会長は、『日歯を戦略的な政策を持った戦う政策集団にする』と宣言されていますが、私たちも、その御旗の下に馳せ参じる気持ちで、気持ちを一つにし、建設的意見が具申できるようにしなければならぬと感じています。

翻りまして、兵庫県歯科医師会としましては、20世紀型の組織から21世紀型の組織への再構築を進めて体力強化を図るとともに、会員の先生方にも意識改革を求めながら、トータルリスクマネジメントの下で、歯科医療の価値観向上を図り、歯科需

要拡大につながる施策展開を図っていきたいと考えています。こうした活動のベースは、もちろん、会員の先生方に支えて頂いているわけですが、まず、執行を任されている私たち役員ひとりひとりが、『手応えを感じる会活動』を作っていかなければならぬと思っています。そして、この手ごたえが、やがて会員のもとに届き、会員の先生方が、『手ごたえを感じられる歯科医師会』に繋がっていくようにしたい……それが、私の願いです。

ここで、貴支部設立20周年という節目の年を記念致しまして、昭和の哲学者、矢内原伊作の言葉を引用させていただきますが、『歴史は単なる過去でも単なる永遠でもない。むしろ、われわれの現在を支えるものである』というフレーズがあります。貴支部のこれまでの20年が、単なる遠い過去ではなく、これから生きていくために必要な、知恵に満ちた20年と考えて頂きますと、その知恵をこれからは生かす時、これまでの歴史が、生き生きと輝いたものになると信じています。歯科医師会組織を横糸とし、同窓会組織を縦糸として織り成していくことによって、歯科界の未来もまた、一枚の織物として描いていくことができるものと思います。先達の先生方が、営々と築いてこられた縦横の歴史が、これからも、貴支部を支え続けていくことに心に留め置いて頂きまして、新たな未来に向けて、さらなる歩みを進めて頂きたいと存じます。

最後になりましたが、岩手医科大学歯学部同窓会兵庫県支部の今後ますますのご隆昌と、本日ご参会の皆さま方のご健勝、ご多幸を心より祈念致しまして、簡単措辞ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。



ご 祝 辞

岩手医科大学歯学部同窓会

会 長 藤 田 達 夫

岩手医科大学歯学部同窓会兵庫県支部設立20周年おめでとうございます。姫野俊昭支部長並びに、坂井諭20周年記念事業実行委員長と会員各位のご尽力によりまして、今日を迎えるにあたり並々ならぬ努力があったとご推察申し上げます。本日はお招き頂き有難うございます。

兵庫県支部は初代支部長の加子大二郎先生と会員各位のご尽力によりまして昭和61年9月20日にオリエンタルホテルにおいて同窓生、来賓、本部から前会長であります菅原先生が出席され、盛大に発会式が行われましてから20年が経過しました。現支部長、姫野俊昭先生に支部長が引き継がれ10年が経過し現在30余名の会員を有する支部となりました。姫野支部長のもと一致団結して本部同窓会にも協力頂いている事に感謝申し上げます。その間、平成7年には阪神大震災という未曾有の災害にみまわれましたが自らがそれを克服し、今日を迎えられました事は会員各位の努力の結果だと思えます。

岩手医科大学は、1901年（明治34年）に設立されました私立岩手医学校が母体となっております。私立岩手医学校はその後、廃校の憂き目にあいましたが、当初設立されました年から数えて、今年丁度105年目の年にあたります。その後、三田俊次郎先生によりまして1928年（昭和3年）に岩手医学専門学校が設立され、1947年（昭和22年）には岩手医科大学として認

可され、今日に至っております。歯学部は昭和46年3月に1期生が卒業、今年の3月に36期生が卒業しました。全国及び海外を含めまして2920名の会員が活躍しております。地元岩手県歯科医師会、会長箱崎守男先生は本学歯学部卒業の1期生ですが今年の4月に日本歯科医師会役員改選に伴い、2期目の筆頭副会長に就任致しました事は同窓として大変喜ばしい事とご同慶にたえません。歯科界再生の為に活躍を祈念致します。

母校の人事に触れますと、本年5月1日付けで口腔病理学の教授に6期生の武田泰典先生が教授に就任しました。母校卒業の教授としては6人目の教授であります。私たち同窓として大変嬉しく思います。また、大学の現況について触れますと平成19年4月開校に向けて薬学部の建設が着々と進められております。盛岡の南、約9kmの所に位置する矢巾町に11万5千坪の広大な敷地を確保し、講義実習棟、研究棟、食堂棟、体育館、学生寮の建設を目指し、現在第1期工事が進められております。

伝統ある岩手医科大学の医学部、歯学部の歴史に更に薬学部が加わり東北はもちろん日本を代表する医歯薬系の総合大学の発展を祈念するところであります。母校の益々の発展を祈念すると同時に歯学部同窓会兵庫県支部同窓会の益々の発展と会員各位のご健勝をご祈念申し上げて祝辞とさせていただきます。



ご 祝 辞

岩手医科大学圭陵会兵庫県支部

支 部 長 浅 井 継

来賓と言われましても、全くの身内でございます。圭陵会兵庫県支部を代表致しまして、一言お祝いを述べさせていただきます。

圭陵会兵庫県支部は現在、総勢92名、この中、歯学部の先生が36名おられます。もう3分の1以上が歯学部の先生方が占めるまでになってきております。益々、歯科の先生が増えている現状でございます。聞きますところに拠りますと歯学部の同窓会の先生方はしょっちゅう、会合を持たれて、色々、意見交換、情報交換をされておられるようでございますが、残念ながら圭陵会兵庫県支部としてはあまり、まとまった活動がなされていない状態です。一応、県支部としましては年1回の総会を開くことになっておりますが、たいてい出席者が10名を超すことは稀です。年1回の春の教授を囲む会が入試に合わせまして大阪で行われますけれども兵庫県からの出席者は大体4名、5名で、いつも決まった顔ぶれです。折角、同窓会、圭陵会という組織がありながら活発な活動が出来ない状態にいるのは

何とも残念な事です。これからも歯学部同窓生の皆さん、是非、圭陵会の方、医学部と歯学部を合わせた会ですので、是非、出席して頂きたいと思っております。先年、県支部の総会の席で、今までは支部の会長は医学部卒業生がずっと携わってきたんですけど、そろそろ、歯学部の先生にも支部の会長として仕事をしてもらえないだろうか、ということで、まあ、2年くらいの任期で、交代で支部長をやってはどうかという意見が出まして、その時に出席されていた先生方には皆さん賛成して頂いております。

これからも歯科の先生方に沢山、出席して頂いて圭陵会の兵庫県支部としても色々活動していきたいと思っております。これからは色々お力を貸して頂きたいと思っております。

以上、簡単ですけども、20周年を迎えた先生方に益々の御健勝とご発展をお祈りしまして、ご挨拶にさせていただきます。どうもおめでとうございました。

兵庫県支部20年の歩み

岩手医科大学歯学部同窓会兵庫県支部の発足から20年間の足跡を、その時代の背景を交えながら説明させていただきます。

岩手医科大学に歯学部が昭和40年に開設され、昭和46年に一期生が卒業しました。昭和61年9月20日に兵庫県同窓会が発会しました。

翌、昭和62年には大阪で本校の口腔衛生学 片山教授の歓迎会を開催しました。この年には利根川進氏がノーベル医学生理学賞を受賞しております。

昭和63年には支部として初めて愛知学院大学兵庫県支部と神奈川歯科大学兵庫県支部とのゴルフコンペに参加させて頂きました。その年、ソウルでオリンピックが開催されています。

平成元年には本校から、補綴の石橋教授が研修セミナーで神戸に来られました。その年にはリクルート事件が起こっています。

平成7年には近畿支部同窓会が有馬グランドホテルで開催されましたが、その年に阪神淡路大震災が起きました。

平成9年には当支部の加子大二郎支部長が辞任され姫野俊昭先生が新支部長に就任されました。この年には地球温暖化防止京都会議が開催されています。

平成13年には当支部会員の平田亨先生がご逝去されました。その年皇太子ご夫妻に第1子、愛子様が誕生されました。

平成16年には日本歯科医師会の副会長、箱崎先生が神戸に来られ歓迎会を行いました。この年にはギリシャのアテネでオリンピックが開催されています。

そして、本日、設立20周年記念式典を迎えるに至っております。

その他、一年を通しての主な行事ですが、

2月には春の教授を囲む会に有志のみ参加しております。

6月頃 松本歯科大学、鶴見大学、福岡歯科大学、岩手医科大学の各同窓会兵庫県支部が合同で「無名会」と銘打ったゴルフコンペを開催しております。

7～8月 同窓会兵庫県支部総会を開催しております。

12月 県下各歯科大学同窓校友会連絡協議会に参加しております。

理 事 鈴 岡 隆

閉宴の辞

箱崎先生、橋本先生、村上先生、藤田先生、浅井先生、公私ともに御多忙な先生方におかれまして、貴重な日曜日であります本日、私共、岩手医科大学歯学部同窓会兵庫県支部の20周年記念式典及び祝宴にご臨席を賜り本当にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。これからも支部及び会員に対しましてより一層の御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

又、会員の先生方、本日は本当に御苦労さまでした。言うまでもなく私達は時間的なずれはありますが、岩手医科大学歯学部で6年間を学び、朝な夕なに岩手山を仰ぎ見ながら盛岡の町で過ごしたという認識を共有出来る兵庫県では数少ない仲間であります。

母校岩手医科大学は来年の春には薬学部を併設し、医歯薬の3学部を備えた医療系総合大学として発展を期しており、その基盤となる矢巾地区への移転計画も順調に推移していると聞いております。母校岩手医科大学から兵庫県は遠くにありますが、母校の発展に負けないように岩手医科大学歯学部同窓会兵庫県支部が30周年、50周年と発展していくために会員皆様のご協力をお願いして閉会の言葉といたします。

副支部長 平瀬達次郎



「医大1号館」

兵 庫 県 支 部 年 表

(昭和61年 9 月～平成18年12月)

チームワークを旗印に

岩手医大歯学部県同窓会発足



オリエンタルホテルでの発会式

9月20日（土）午後6時からオリエンタルホテル“桜の間”で、兵庫県在住の岩手医科大学歯学部卒業生全員の念願だった兵庫県同窓会の発会式が挙行された。

来賓として村井兵衛会長をはじめ岩手医大から鈴木歯学部長、医学部同窓会から石田兵庫県支部長、それに関係諸団体から10人の先生方が姿を見せ、厳粛な雰囲気の中に式典を終えた。

次いで中塚兵衛専務理事の音頭で乾杯して祝宴にうつったが、席上、志築兵衛常務理事が県下の各歯科大学（歯学部）同窓会（校友会）連絡協議会の活動状況を詳細に

説明した。

遠く離れた盛岡に母校があって、県下では全員16人のミニ同窓会だが「チームワークとまとまりを旗印に、全員一丸となって冬の時代に入ったといわれる歯科界の難局に臨み、さらにいっそう力強く地域医療に従事していきたい」と同窓生一同、大張り切り。

なお同窓会では、発会記念行事と発会記念雑誌の刊行に快く賛助してくれた兵庫県歯科医師会をはじめ関係者に、この誌面を借りて感謝したい、と述べていた。

兵庫県歯科医師会 発行

「歯界月報」第425号（1986年11月）より

岩手医科大学歯学部同窓会 兵庫県支部 年表

日付	行事	備考	
昭和61年	9月20日	岩手医科大学歯学部同窓会兵庫県支部発会式	オリエンタルホテル
	11月13日	歯周病学会で神戸にて歓迎会	第一楼
	12月13日	県下各歯科大学同窓・校友会役員連絡協議会（朝日大学主管）	ポートピアホテル
昭和62年	2月27日	県下歯大の同窓会連絡会	
	2月28日	岩手医科大学歯学部兵庫県同窓会	ポートピアホテル
	7月30日	兵庫県同窓会ゴルフコンペ	
	8月1日	大阪歯科大学兵庫県同窓会	
	9月29日	口腔衛生 片山教授 来阪	
	11月6日	県下歯大の同窓会連絡会	
	11月29日	県下各歯科大学同窓・校友会役員連絡協議会（城西歯科大学主管）	オリエンタルホテル
昭和63年	3月27日	岩手医大歯学部兵庫県支部同窓会	
	9月11日	愛知学院大学と神奈川歯科大学とのゴルフコンペ	
	10月15日	大阪歯科大学兵庫県同窓会	
平成1年	1月21日	石橋先生研修セミナーで来神	
	4月10日	広島大学歯学部 兵庫県支部同窓会	
	4月23日	松本歯科大学 岩手医大合同ゴルフコンペ	
	5月26日	東京医科歯科大学同窓会	
	8月5日	大阪歯科大学兵庫県同窓会	
	12月16日	県下各歯科大学同窓・交友会役員連絡協議会（松本歯科大学主管）	オリエンタルホテル
平成2年	2月17日	大阪歯科大学兵庫県同窓会	
	8月11日	大阪歯科大学兵庫県同窓会 会員大会	
	12月8日	県下各歯科大学同窓・校友会役員連絡協議会（岩医大主管）	オリエンタルホテル
平成3年	1月5日	大阪歯科大学兵庫県同窓会神戸分会中央支部新年会	
	1月23日	東京歯科大学記念式典	
	4月7日	岩手医科大学歯学部同窓会兵庫県支部 総会	明石屋
	4月10日	ゴルフコンペ	三木セブンハンドレッド
	6月3日	大浦波夫先生・津島大麓先生 叙勲記念祝賀会	
	6月22日	鶴見大学歯学部同窓会 兵庫県支部 発会式	
	9月30日	第65回日本細菌学会協賛	
	12月21日	県下各歯科大学同窓・校友会役員連絡協議会	
平成4年	1月23日	大阪歯科大学兵庫県同窓会神戸分会中央支部新年会	
	7月26日	秦信一・志築照和・故坂下保太 三先生 叙勲・褒章記念会	新神戸オリエンタルホテル
	8月8日	大阪歯科大学兵庫県同窓会	
	11月27日	笠原義人先生 叙勲祝賀会	新神戸オリエンタルホテル
	12月12日	同窓会連絡協議会	
	12月19日	県下各歯科大学同窓・校友会役員連絡協議会	
平成5年	1月23日	大阪歯科大学兵庫県同窓会神戸分会中央支部新年会	
	1月31日	故奥野半蔵先生 日本歯科医師会・兵庫県歯科医師会合同葬	兵衛会館
	5月30日	岩手医大歯学部同窓会兵庫県支部 総会	西村屋
	6月27日	長濱禎昭先生 藍綬褒章受章祝賀会	新神戸オリエンタルホテル
	8月21日	大阪歯科大学兵庫県同窓会	
	12月18日	県下各歯科大学同窓・校友会役員連絡協議会	
平成6年	6月16日	松本清、谷上利夫 両先生 叙勲記念祝賀会	
	11月26日	全国歯科懇親会	
	12月17日	県下各歯科大学同窓・校友会役員連絡協議会（日本歯科大学主管）	新神戸オリエンタルホテル

	日 付	行 事	備 考
7平 年成	7月9日	岩手医科大学歯学部近畿同窓会	有馬グランドホテル
	11月30日	近畿支部総会	
平成 8年	1月27日	大阪歯科大学兵庫県同窓会神戸分会中央支部 新年会	
	4月28日	村井俊郎・塩見洋三・中塚裕 三先生 叙勲・褒章祝賀会	新神戸オリエンタルホテル
	8月24日	大阪歯科大学兵庫県同窓会	
	11月23日	岡山大学同窓会発会式	新神戸オリエンタルホテル
	12月21日	県下各歯科大学同窓・校友会役員連絡協議会(愛知学院大学主管)	メリケンパーク・オリエンタルホテル
平成 9年	2月4日	岩医大教授を囲む会	たこ梅
	3月6日	岩手医大同窓会	西村屋
	7月27日	岩手医大歯学部同窓会兵庫県支部 総会	西村屋
	12月20日	県下各歯科大学同窓・校友会役員連絡協議会(日本大学主管)	メリケンパーク・オリエンタルホテル
平成 10年	1月17日	大阪歯科大学兵庫県同窓会神戸分会中央区支部新年会	ポートピアホテル
	3月22日	徳島大学歯学部同窓会発会式	
	7月12日	無名会ゴルフコンペ(岩医大主管)	小野グランドGC
	11月14日	岩手医大歯学部同窓会兵庫県支部 総会	西村屋 但馬路
	12月19日	県下各歯大同窓・校友会役員連協(大阪大学主管)	
平成 11年	1月16日	大阪歯科大学兵庫県同窓会神戸分会中央支部新年会	
	5月9日	無名会ゴルフコンペ(広島大学主管)	ジャパンメモリアルGC
	8月7日	大阪歯科大学兵庫県同窓会総会	
	10月23日	岩手医大歯学部同窓会兵庫県支部 総会	マンダリンパレス
	11月20日	神奈川歯科大学20周年記念式典	
	12月18日	県下各歯大同窓・校友会役員連協(大阪歯科大学主管)	
平成 12年	1月22日	大阪歯科大学兵庫県同窓会神戸分会中央支部新年会	
	2月26日	大阪大学 兵庫県支部40周年記念式典	オーパ
	6月17日	岩手医大歯学部同窓会兵庫県支部 総会	西村屋但馬路
	7月15日	田村正先生 叙勲祝賀会	
	8月26日	大阪歯科大学 兵庫県同窓会総会	
	12月16日	県下各歯大同窓・校友会役員連協(神奈川歯科大学主管)	
平成 13年	2月17日	加子先生 天津外国語大学講師就任 送別会	マンダリンパレス
	5月19日	本学歯学部創立30周年記念式典	盛岡グランドホテル
	5月26日	兵庫県圭陵会総会	
	6月3日	九州歯科大学60周年記念式典	
	6月7日	5歯大ゴルフコンペ(無名会)	
	7月28日	岩手医大歯学部同窓会兵庫県支部 総会	まつのや
	8月11日	歯8期 平田享先生ご逝去	
	12月15日	県下各歯大同窓・校友会役員連絡協議会(朝日大学主管)	新神戸オリエンタルホテル
	2月17日	渡辺潔先生 叙勲祝賀会	ポートピアホテル
平成 14年	4月13日	県下各歯科大学同窓校友会と懇談会	会館
	4月27日	支部理事会	創味や大
	6月30日	無名会ゴルフコンペ(福岡歯科大学・徳島大学主管)	グランドオークGC
	7月27日	岩手医大歯学部同窓会兵庫県支部 総会	鈴江
	8月3日	大阪歯科大学兵庫県同窓会	新神戸オリエンタルホテル
	9月26日	支部長会	県歯科医師会館
	9月29日	圭陵会県支部ゴルフコンペ	
	12月14日	県下各歯科大学同窓・校友会役員連絡協議会(明海大学主管)	新神戸オリエンタルホテル
15平 年成	6月26日	支部理事会	彩彩
	7月6日	無名会ゴルフコンペ(松本歯科大学主管)	三木ゴルフ倶楽部

日付	行 事	備 考	
平成15年	7月27日	吉本秀知先生 叙勲記念祝賀会	ポートピアホテル
	8月2日	大阪歯科大学兵庫県同窓会	新神戸オリエンタルホテル
	8月23日	岩手医大歯学部同窓会兵庫県支部 総会	鈴江
	12月6日	医政懇談会	新神戸オリエンタルホテル
	12月13日	県下各歯大同窓・校友会役員連絡協議会（九州歯科大学主管）	新神戸オリエンタルホテル
平成16年	4月3日	支部理事会	ちょぼいち
	4月20日	支部理事会	ちょぼいち
	5月30日	無名会 打ち合わせ会	小野グランドGC
	6月19日	支部理事会	田路
	6月27日	無名会ゴルフコンペ（岩医大主管）	小野グランドGC
	7月15日	入会問題担当者連絡協議会	兵歯会館 5Fホール
	7月25日	岩手医大歯学部同窓会兵庫県支部 総会	有馬温泉銀水荘 兆楽
	7月31日	大阪歯科大学兵庫県同窓会総会	新神戸オリエンタルホテル
	10月9日	支部理事会	かぶらや
	11月25日	理事会・箱崎先生を囲む会	段屋
	12月11日	県下各歯大同窓・校友会役員連絡協議会（鶴見大学主管）	新神戸オリエンタルホテル
平成17年	2月20日	葬儀（鈴木隆先生ご逝去）	盛岡グランドホテル
	5月21日	支部理事会	千人代官
	6月19日	中塚裕先生 叙勲祝賀会	ポートピアホテル
	7月14日	支部理事会（総会準備理事会）	なごみ庵
	7月24日	無名会ゴルフコンペ	加西インターゴルフクラブ
	8月6日	大阪歯科大学 兵庫県同窓会	新神戸オリエンタルホテル
	8月7日	岩手医大歯学部同窓会兵庫県支部総会	姫路イーグルキャッスル・ミレ
	10月8日	20周年記念準備委員会	柊草
	10月10日	橋本猛伸先生藍受褒章受章記念祝賀会	新神戸オリエンタルホテル
	10月16日	松本歯科大学 兵庫県支部20周年記念祝賀会	新神戸オリエンタルホテル
12月10日	県下各歯大同窓・校友会役員連絡協議会（松本歯科大学主管）	新神戸オリエンタルホテル	
平成18年	7月2日	無名会 ゴルフコンペ	ウェストウッドGC
	7月8日	20周年記念前夜祭	新神戸オリエンタルホテル
	7月9日	兵庫県支部20周年記念式典	新神戸オリエンタルホテル
	7月30日	西田真和先生叙勲記念祝賀会	新神戸オリエンタルホテル
	8月5日	大阪歯科大学兵庫県同窓会総会	ポートピアホテル
	10月15日	岩手医大歯学部同窓会兵庫県支部総会	芦屋ホテル竹園
	12月2日	九州大学歯学部兵庫県支部発会式	新神戸オリエンタルホテル
	12月9日	県下各歯大同窓・校友会役員連絡協（岩医大主管）	新神戸オリエンタルホテル

支 部 会 写 真 集

20周年記念式典

平成18年7月9日
新神戸オリエンタルホテル





兵庫県支部総会

平成11年10月23日
三宮 マンダリンパレス



兵庫県支部総会

平成12年6月17日
三宮 西村屋但馬路



加子先生 天津外大 講師就任 送別会

平成13年2月17日
三宮 マンダリンパレス





兵庫県支部総会

平成13年7月28日
三宮 まつのや



兵庫県支部総会

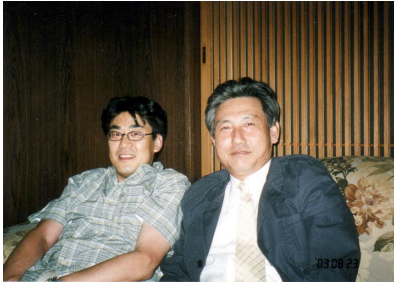
平成14年7月27日
花隈 鈴江



兵庫県支部総会

平成15年8月23日
花隈 鈴江





兵庫県支部総会

平成16年7月25日
有馬温泉銀水荘 兆楽



兵庫県支部総会

平成17年8月7日
姫路イーグルキャッスル・ミレ



兵庫県支部総会

平成18年10月15日
芦屋 ホテル竹園



県下各歯科大学 同窓校友会

平成18年12月9日
新神戸オリエンタルホテル



会 員 寄 稿

「私の歯科人生・昨日今日明日」	歯2期	加 子 大二郎
「私 の 20 年」	歯3期	阿 曾 寿 尚
「光陰矢の如し」	歯5期	菊 池 史 郎
「盛岡の地を踏んでから36年」	歯6期	平 瀬 達次郎
「郷 愁」	歯6期	高 島 慎 一
「最近思うこと」	歯7期	鈴 岡 隆
「盛岡の思い出」	歯8期	松 川 啓 一
「兵庫県支部との係わり」	歯8期	柳 治 夫
「20周年に寄せて」	歯10期	浜 口 雅 明
「次 へ」	歯18期	坂 井 諭
「兵庫県支部20周年おめでとうございます」	歯22期	有 本 眞 也
「20周年に寄せて」	歯24期	橋 本 誠 一
「寄 稿」	歯25期	長谷川 孝
「20周年を迎えるにあたって」	歯26期	中 東 航

「私の歯科人生・昨日今日明日」

歯2期 加子 大二郎



兵庫県同窓会発足20周年記念式典開催にあたり、後輩諸君から会設立の功労者として、感謝状と記念品を授与されることになりました。公の場で晴れがましいこの種の表彰を受けることは勿論、生まれて初めてのことで、戸惑いと面映ゆさを禁じ得ません。謝辞を述べるつもりで、卒後、来し方35年の思い出話でもしたいと思います。

愛知県の片田舎に、ごく平凡な歯科開業医の次男坊として生まれ育ち、深く考えることなく、兄と同じように歯医者への道を選んだのは歯科医師不足の当時の社会情勢からして当然の事だったかも知れません。

6年間の盛岡の学生時代は思い残すことは全く何一つ有りません。素晴らしい青春の1ページだったと思います。どう考えても学級肌には見えないのに、どういう訳か大学に残る事となり、臨床科目としては口腔外科、保存学、基礎科目としては微生物学を専攻しました。

神戸市北区で開業したのが昭和59年、当時は開業歯科医として今とは比較にならない程の恵まれた社会環境下にありました。盛岡の同窓会本部、菅原会長の「母校の発展のために全国に県単位で同窓会支部の設立を」という要請もあり、また、兵庫県歯科医師会内部に我が同窓会の確固たる足場を築かんが為に、全員が一致団結し、岩手医科大学歯学部兵庫県同窓会の旗揚げにのぞむことになりました。

兵庫県歯科医師会は日本歯科医師会の中でも有数の長い歴史を持つ有力な県歯の一つです。そんな兵庫県歯の中で同窓会活動を通して、義務と権利と責任を全うする為にはどうしても当時、十数校で組織されていた県下歯科大学同窓連絡協議会の一員として公式に認めて頂かなければなりません。時の村井兵庫会長、中塚専務の暖かい御理解と御協力、御指導のおかげで同窓会発足行事の行程を無事に挙行完了することができました。その結果どうにかこの組織に他校と肩を並べて参加させて頂く事になりました。その時、単なる名も無い大学の同窓生のグループが県歯を構成する責任ある団体として公認された次第です。

思えばこの頃が最も緊張していた時期でした。県歯に於いては我が岩手医大は他校に比し、その構成員数の規模から言って間違いなく超ミニ同窓会であり、政治的には全く無力微弱な存在でしたが、これに臆することなく、それなりに活躍してきたと自負しています。

数々の県歯主催行事にはいつも猪突猛進型の2期加子支部長、有言実行型の3期姫野副支部長、沈着冷静型の5期菊池専務理事の個性派3人が、ガッチリとトリオを組んで積極的に参加して参りまいりました。その割には大きな成果をあげることが出来ませんでした。この20年間、私の知るところ、我が同窓生の一人として社会に対しても県歯に対してもトラブルや迷惑をかけたことが無く、これこそが最大の誇りとするということかも知れません。

しかし、決して順風満帆ばかりではありませんでした。特筆すべきは11年前に起きたあの忌まわしい阪神大震災です。想像を絶する自然の暴挙に、ただただ無力さを痛感し、為す術もなく打ち拉がれていた時、本部の同窓会をはじめ、全国の他県同窓会から多大の義援金と励ましの言葉をいただきました。お陰様でわが同窓生に於いては経営的に誰一人の犠牲者もなく無事、この難局を乗り越えることができました。これも圭陵会、歯学部同窓会、医学部同窓会各位のご厚情の賜り物であると、この誌面をお借りして改めて御礼申し上げたいと存じます。

今、20周年記念式典会場の正面に日章旗と共に高く掲げられている紫地に校章と白い文字で染め抜かれた「岩手医科大学歯学部兵庫県同窓会」の旗を見ていると誠に感慨深きものがあります。同席の箱崎日本歯科医師会副会長、藤田歯学部同窓会長のお二人に他の県の同窓会にもこの種の旗が有るかどうか尋ねたところ、皆無だそうで、良い物を作ったとお褒めの言葉を戴きました。チョットばかり、優越感のようなものを感じました。

早いもので、開業医の第一線を退いてからもう10年が経とうとしています。その間、二年の中国天津での生活をはじめ、我が人生も波瀾万丈、いろいろと紆余曲折もありましたが、現在、大阪の技工士学科、衛生士学科、臨床検査技師学科を擁する医療系の専門学校で教鞭をとっています。今の私は歯科医師としてでなくパラデンタルサイトの一員として外部から客観的に冷静に歯科界、歯科医療行政を見つめることができる立場にあります。昨年の日歯のヤミ政治献金事件、歯科医師の需給問題、医療費総抑制問題等、一人ひとりの歯医者がどんなに努力しても解決しようが無いような困難な先の見えない障害がそびえ、立ちほだかっています。そんな中、現在の私には視点を変えることにより、何か現場の歯科医師には気が付くことがないような社会や医療の矛盾点、不条理さが見えてくるようになるかも知れません。

そんな事を考えている中に兵庫県同窓会の記念式典もパーティも佳境に入り、やがて終わりに近づいてまいりました。時代は確実に流れています。同窓会活動も6期平瀬君、7期鈴岡君等みんなの影のサポートに支えられながら運営してきた我々3人の時代から今や、今日のこの重大な意味を持つ式典の進行を見事にスムーズに取り仕切ってくれた8期柳君、18期坂井君達の時代に完全に移行した感じがします。頼もしい後輩達の出現に喜んで安心してこの場を譲ろうかと思っています。現在、我が兵庫県支部の同窓生の数も30名を超えました。若い彼等の今後の活躍に大いに期待したいと思っています。

平成18年7月9日、新神戸オリエンタルホテルで挙行された式典の席にて……。

「私の20年」

歯3期 阿曾 寿 尚



大学を卒業して早、33年。2年ほどの病院勤務を経て、親父の元にもどり診療。そして同じ地区ではあるが、現在の場所に歯科医院を建て今年で20年。20年といえば、兵庫県支部の同窓会が出来てから今年で20周年。思えば、同じ時期であったのか。あの当時は、患者さんの数も多く、忙しい毎日であったように記憶しているが、ご多分にもれず、このような田舎にも歯科医師過剰時代の到来により、若い先生がどんどん開業。よって患者さんの数も減り、毎年診療収入は右肩下がり。新しい機械、材料もなかなか取り入れることもせず、いかに支出を抑えていくかばかりを考える今日このごろ。一人息子は大学5年生。あと卒業まで、2年か。そして自分自身は来年還暦。

暗い話ばかりになりましたが、老骨にむち打ち、もう一頑張りといきますか。
今後とも宜しくお願いします。

「光陰矢の如し」

歯5期 菊池 史 郎



兵庫県の歯学部同窓会が発足して、早くも20年が経過しました。まさに「光陰矢の如し」です。発会前の準備で、加子先生、姫野先生と診療が終わってからの夜遅くに、度々神戸に集まり話し合いをしたのが懐かしく、つい昨日の事のように思い出されます。

20年の経過を振り返りますと、加子会長時代は岩手医大の名前を他大学同窓会、兵歯、郡市区会に知って頂くことから始まりました。その方針の下、当時の村井兵歯会長に自薦で兵歯の委員会に入れて頂けるよう、お願いに伺った事もありました。その後、加子先生は兵歯・社保委員会に、姫野先生は医事処理委員会に入られ活躍されました。加子会長は他大学同窓会の会長方ともよく交流をされて岩手医大の存在をアピールされ、また有志の大学によるゴルフの対抗戦も企画され、その会は今も続いております。加子先生は同窓会の活動の場をどんどん広げられ、我々会員は会長の後をついてゆくのが精一杯の時もありましたが、この時期に同窓会の礎が出来たと思っております。

現在は姫野会長が加子前会長の路線を引き継がれ、他大学同窓会、兵歯と独自の強固な関係を築かれ、その結果兵庫県同窓会は20年の歴史の中で最も充実し安定した状況にあります。発会当時には思いもしなかった事です。

今後のさらなる発展のため、会員全員が一致団結して同窓会の運営と活動に参加することを期待しています。

「盛岡の地を踏んでから36年」

歯6期 平 瀬 達次郎



上野駅発の夜行列車「十和田」の自由席で殆ど一睡もできず疲労困憊の身体で、前々日に雪が降ったとかで残雪の盛岡の地を初めて踏んだのは昭和45年（1970年）4月の初旬でありました。

それから36年の月日が経過致しました。その36年間を思い出すままに、筆の向くままにしたためたいと思います。

当日盛岡駅に到着後、駅前よりバスに乗り高松の池の近くの上田4丁目の下宿に着いたのは昼前でした。下宿では2、3日前には着いているはずの布団をはじめとする荷物が着いておらず6畳一間には何もなく、ただただ寒いだけで非常に心細い思いをいたしました。昼食を外に食べに行き、帰ったところ、荷物が着いており、ほっとしたことを憶えております。

私達の入学式当時の歯学部長は沢木教授、教養部長は小松代教授で、石渡教授がクラス担任、SGは茂木助教授でありました。

同じ下宿には生物学科の柳瀬助手、心理学科の田中助手（現岩手医大教養部長）がおられ、よく呑み会にご一緒させていただきました。

以後6年間は春は浅田次郎氏の「壬生義士伝」の一節、「盛岡の桜は石を割って咲く」の石割桜を見物し、又、日本の桜百選の一つ、高松の池周囲の夜桜は毎年のように一升瓶を片手に見物に行きました。

夏は2度程、宮古の浄土ヶ浜へ海水浴に、冬は十和田奥入瀬の紅葉に魅せられ、冬は高松の池でアイススケート（当時は出来たのです）、網張、八幡平、竜ヶ森でのスキー、岩洞湖でのワカサギ釣りを楽しみました。

南へ向かっては柳田国男の「遠野物語」の故郷であり、河童伝説もある遠野市へ、又、中尊寺金色堂、毛越寺で藤原3代の栄華を偲び、北に行っては岩泉の龍泉洞の神秘さに驚かされ、西に向かい、田沢湖へはたつこ姫に会いに行き、東北の小京都、角館の武家屋敷を散策し、東では北山崎へ宮古へのリアス式海岸のドライブを楽しみ、同時に海の幸も満喫しました。岩手山、八甲田山、姫神山、八幡平にも登山致しました。

盛岡近郊の花巻、志戸平、鶯宿、鉛、繫、網張等の温泉にはよくつかり、小岩井牧場のジンギスカンをつつきました。何だか岩手県の観光案内のようになりましたが、このように学生時代はよく楽しむことができました。学生の本分であります勉学は今のようには国家試験が、国家試験がという時代ではなかったので、試験前に少しやるという程度でありました。

昭和51年3月岩手医大卒業と同時に神戸に帰り、同年4月より大阪歯科大学口腔外科第一講座にお世話になりました。主任教授は高須淳教授で、教授にとっては初めての他大学からの医局員ということで、公私とも大層可愛がっていただきました。

入局後1年が経過した昭和52年4月より兵庫県警察本部内の歯科診療所に当初1年間という約束で週に3回の出務を命ぜられました。大学病院での診療も週3日になりましたが、患者さんの配当は減らさないとのことでしたので、大学病院の日は勿論、県警本部の診療日も診療が終わってから殆ど毎日、大学病院に戻り入院患者さんの治療と、ハードな毎日を送りました。

昭和56年3月、結婚を機に大歯大を退職し、4月より神戸市長田区丸山町で平瀬歯科医院を開設し現在に至っております。最初1年間という県警本部の診療所にはその後もずっと勤務し、今も週1回行っております。

その後、男、女、男の3人の子供にも恵まれ、歯科医院も軌道に乗り、そこそこの生活を送っていましたが、平成7年1月17日のあの想像を絶する阪神淡路大震災に遭遇致しました。神戸市の中でも長田区は一躍名前が全国区になるほど被害が大きく、長田区歯科医師会の会員の中にも自宅や診療所が全壊や半壊の被害を受けられた方が多数おられました。このような大災害にもかかわらず、私共では大きな被害を受けることなくすみました。

震災後、岩手医大歯学部6期生の多数の先生方からたくさんの励ましを頂き大変心強い思いをしたのを昨日のこのように思い出されます。

平成12年4月から長男が学部は違いますが、岩手医大にお世話になり、今年、18年3月に卒業し、兵庫県の方に帰ってまいりました。

この6年間は年に3、4回、盛岡へ通い続けました。私にとりまして盛岡という名は非常に心地よい響きをもって耳に入ってくる町であり、これからも出来るだけ機会をとらえて行きたいと思っております。

我が母校、岩手医科大学は来年度（平成19年4月）より薬学部を新設し、医歯薬総合の大学となり盛岡の南に位置する矢巾町に移転という開学以来の大事業が行われていますが、この事業が成功し、益々発展することと、岩手医科大学歯学部同窓会兵庫県支部の隆盛と会員の先生方の御健勝を心より祈念し、筆を置きたいと思います。

「郷 愁」

歯6期 高 島 慎 一



先日、私の誕生日に娘と息子がレコードプレイヤーを贈ってくれた。

それは子供時代、8畳の床の間に置いてあった電蓄そのものの形。

屋根裏部屋から、35年も前のレコードの入ったダンボール箱を探し出してきていた。

それはまったく忘れ去っていたもの。

震災にもかかわらずよく残っていたものだ、というより見つけ出してよく保存しておいてくれたものだと家族に感謝するばかり。

レコードの中には亡き父がよく聞いていたアルバムもある。早速夜中に数枚聴くと鳥肌が立つ、目頭が熱くなる。すべてがデジタルの世の中、アナログの音は私の脳を第一医大寮の4畳半の空間へとタイムスリップ、私の人生を決めた盛岡の地へいざなう。

35年の眠りから覚めたその音色は私のこの35年間の人生そのもの、ゴォーという低い針の音、ピチピチという溝の傷の音、ザーという埃の音はこの35年間にふりかかってきた様々な出来事。

テリー・ハーマントリオのブルー・アランフェス、ビル・エヴァンスのモントルー・ジャズフェスティバル、ロス・インディオス・タバハラス、ジュリー・ロンドン、ナナ・ムスクーリ、ゲオルク・ショルティエ、アルフッド・ハウゼ……

なぜかビートルズは聴かなかった。
ダンボールの懐かしい音色は盛岡によく似合う。
それから、なおもそれから、日が暮れ、夜が更けるまでの長い時間、
さながら青春の宴の通り道 盛岡の追憶 ノスタルジー……。

「最近思うこと」

歯7期 鈴 岡 隆



今年で同窓会が発足して20周年おめでとうございます。

私も神戸市北区で開業して今年で25年をむかえます。開業して13年間は、忙しく髪を振り乱して無我夢中で働きました。

最近では体力が衰え粘りが無くなりました。今年の春には高血圧になり、薬を常用しています。これは運動不足と塩分の摂りすぎだそうです。

若い時のように体が動かなくなり、仕事も無理できなくなりました。

後どのくらい仕事出来るか分かりませんが、無理せず楽しみながら生活していきたいと思います。

又、この20年間、加子元支部長、姫野支部長の下で会計を担当させて頂きました。未熟な会計でしたが、赤字を出さずに会計が出来ましたのは、会員の皆様の御協力のおかげだと感じています。皆様には深く感謝しております。

来年度からは新しい執行部が誕生するそうです。新たな同窓会が一層発展しますように、お祈り申し上げます。

「盛岡の思い出」

歯8期 松川 啓一

冬の寒さは関西出身の自分には経験のない寒さで、コップの水は朝は凍っており、水道の水も出なくなり大変でした。

しかし父の同期生が二人と、先輩が盛岡に住んでおられて色々ご指導頂き、有意義な6年間でした。また現在も連絡を取り合う良き友人に恵まれて良かったと思っています。

また街から一歩出ると岩手山も間近に眺められ、小岩井農場もあり、自然の中で生活出来て本当に幸せでした。

最近25年ぶりに同期生が盛岡に行って、写メールで盛岡の風景を送ってくれましたが、懐かしく楽しい思いを致しました。

「兵庫県支部との係わり」

歯8期 柳 治夫



私は平成2年5月に西宮市で開業し、兵庫県支部に入会させて頂きました。ただし支部との係わりはもう少し古く、昭和59年1月に神戸市立西市民病院に岡山大学の口腔外科から派遣された時が最初でした。

神戸には盛岡で下宿が同じだった1年先輩の鈴岡先生がおられて、北区で既に開業されていました。早速に連絡して、診療所にお邪魔したことを覚えております。鈴岡先生からは埋伏智歯症例等のご紹介をいただき、それまで一般歯科しか診療していなかった西市民病院に、何とか口腔外科を定着させようとしておりましたので、色々ご協力を頂きました。

西市民病院歯科には実に多種、多様な口腔疾患の患者さんが来院され、炎症、外傷、腫瘍と多くの症例を経験させて頂きましたが、残念ながら2年弱で愛媛県の新居浜市にある住友別子病院へ転勤となりました。その後、広島市民病院でも勤務しましたが、もうそろそろ自宅のある西宮市で開業しようと平成元年7月に退局致しました。

しかし当時は歯科医師過剰時代の始まりで、歯科医師会は会員擁護のためとなかなか新規

開業、すなわち入会が認められない風潮でした。誰に相談して良いのやら悩みましたが、結局頼るところは同窓会しかないと思い、西宮で開業されている先輩を名簿で探しました。幸いにも5期の菊池先生と6期の高島先生がおられるのが分かり、連絡を取らせて頂きました。

お二人とも同窓というだけで、全く面識もないのにも関わらず親身に相談に乗って下さいました。また当時の兵庫県支部長、2期の加子先生にも北区の診療所にお伺いして事情を聞いて頂きました。

当時、加子先生は兵庫県歯科医師会・社保委員会、今の医療保険委員会の委員をされており、西宮の澤田隆先生と同じ委員会で親しくされておられたので、私の事を口添えして下さいました。現在、私はその委員会に属しておりますが、何か不思議な縁を感じます。

澤田先生はその後、西宮市歯科医師会の会長となられましたが、神戸大学の口腔外科に在局されていた時に、岩手医大出身で耳鼻科の古閑先生と同じ基礎の教室で研究をされていたとかで、今でも親しくされているそうです。全く世間は狭いとはよく言ったものですが、これもまた不思議な縁だと思います。

最後になりましたが、私が西宮で開業する事ができ、今日まで無事に仕事をこなせたのはまさに同窓会のお陰だと感謝しております。これからも支部会が同窓の先生方の力になれるように発展することを、切に願っております。

「20周年に寄せて」

歯10期 浜 口 雅 明



私は昭和58年3月に大学を卒業し、4月から約3年間、母校の歯科保存学第一講座に勤務しました。この間、歯学部・同付属病院の増改築に伴う医局や外来診療室の移動、主任教授の石橋先生の大手術、その後の自宅療養、医局員のB型肝炎への感染など、大変な事が多かったなという思いがあります。

退職して盛岡を離れる大雪の前夜、院内生へのムントの最中に頭や肩に雪が残ったまま医局に石橋教授が入って来られ、

「ご苦労様でした。郷里に帰ったら歯科医療の最前線での戦いです。頑張ってください」
と川徳の包みを手渡して下さいました。体調が万全ではなく、しかも雪の中をと思うと感動

で胸がいっぱいになりました。研究室で二人用顕微鏡を覗きながら熱心に指導して下さったこと。学会発表では次演者席の後ろの席に来て、そっと、

「質問が出て答えに窮したら、共同研究者の石橋がお答えしますと言いなさい。指導教授でなく、共同研究者と言うんだよ。大丈夫、大丈夫」

と励まして下さったこと。

医局員の食事の中に入ってこれ、

「うまそうだな。オレはこんな小さなおにぎり2個だけだよ」

と少しさびしそうな顔を見せられ、皆、胸が痛んだことなどが思い出されます。

教授が亡くなられる半年前に届いた和紙に毛筆で書かれた手紙と色紙は、私への遺言だと思ひ大切にしています。

淡路島に帰ってきて、はや23年が過ぎました。本当にあつという間でしたが、それだけ年を取ったということです。しかし体はともかく、気持ちはまだまだ若いつもりでいます。これからも気持ちは年を取らずに、頑張っていきたいと思っています。

「次 へ」

歯18期 坂 井 諭



20年前、私は歯学部5年生、大学の講義、実習の後、夕方から夜遅くまで弓道部の道場、その他、学友会総務委員長として学生自治会にたずさわって、毎夜のごとく、同期、先輩、後輩と街へ繰り出しお酒を飲んで騒いでおりました。大学を卒業し、大学院へ、そして助手を勤めた後、平成4年に神戸に戻ってまいりました。その際、一面識もなかった、当時、支部長の加子先生にお電話をさせて頂き、さらに医院にお伺いし神戸に戻ってきたご挨拶をしいに行った日のことを思い出します。そしてその4年後の平成8年8月8日に現在の地で開業し早10年、感慨深いものがあると同時に今年は何か節目の年のような気が致します。現在、当支部の専務理事を務めさせて頂いておりますが、本年は、兵庫県支部20周年記念式典ならびに記念誌作成、県下歯科大学・大学歯学部同窓校友会役員連絡協議会当番校と大きなイベントが2つあり大変な年ではありました。しかしながら、30数名の少人数という強み?!とでもいいますか一致団結し無事終える事ができました。中でも、姫野支部長ほかベテランの先

生方のご指導を仰ぎながら、その準備に多くの若い先生方が参加・協力して下さり、今後の支部の発展に大変希望が持てた年でもありました。現在、会員の先生方の多くが各郡市区歯科医師会で大変活躍されており、我が支部の団結力は、いまや県歯科医師会のなかでも一目置かれた存在になっています。今後も会員の先生方が何か困った事や相談したい事があれば、まず最初に「そうだ、同窓会があるじゃないか!!」と思って頂けるよう、かつ、信頼される支部であるべく活動をしていく必要があります。その為にも、先生方により一層、同窓会の運営に協力して頂きます様お願い致します。そして、なによりも過ごした時期は異なるにせよ、いつの時代も変わらず美しい勇姿をみせてくれている岩手山のふもと盛岡の地で6年間過ごした仲間同士、助け合い、協力しあう事が大切だと思います。会員の先生方の医院の益々の隆盛および御健勝を祈念しつつ、自分も中年になった事を自覚して、健康には留意し、家族（家内は歯学部1年先輩で弓道部で知り合い結婚、今は長男と格闘の毎日！）を大切にしながら毎日を楽しく過ごし、診療に会務に、そして岩手医科大学歯学部同窓会兵庫県支部の新たなステップ「次へ」つながるよう、自分に与えられた責務を果たしていきたいと思っております。

「兵庫県支部20周年おめでとうございます」

歯22期 有本真也



岩手医科大学歯学部同窓会兵庫県支部20周年おめでとうございます。

同窓会を今まで支えてこられた諸先生方のご活躍がなければ、この小さな同窓会が20年も存続出来なかったのではと、ご苦労の程が忍ばれます。

20年前といえますと、岩手医科大学に入学した年になります。春となり、桜の咲きほころぶ関西を後にして、まだ春に遠い盛岡の地に降り立った時は、希望に溢れるというよりは冬模様の盛岡の天候もあり、不安と心配でいっぱいでした。

あれから、無事に大学を卒業し、歯科医師国家試験も合格して歯科医師となり、6年前には今の開業地に開業もしました。

色々となりましたが、過ぎてみますと早いもので、感慨深く思い出されます。

しかしながら、懐かしい盛岡ではありますが、母校の移転問題が現実となり、しかも僕た

ちが教えを受けた教授たちが次々と退職され、またお亡くなりになり、大学に知人も少なくなり、母校が益々遠く感じられるのは僕だけでしょうか。

ただ、歯科医師として自分のルーツは、岩手医大にあることを今後とも失うことなく、大切にしていかなばならないと考えております。

同窓会が学生時代を忘れさせず、小さいけれど元気のいい会でありますように願っております。

「20周年に寄せて」

歯24期 橋本 誠 一



今から20年前といえば、私は18歳で大学受験に失敗し、大阪で下宿して予備校へ通っていました。古い長屋で、隣の人の部屋の明かりが柱の隙間から漏れてきていたのを憶えています。お風呂もテレビもなく寂しいものでした。毎日ウォークマンで浜田省吾の歌を聞きながら銭湯へ通ったのを懐かしく思います。

そして20年経った今は結婚して娘が二人おり、開業医として日々歯科医療に勤しんでおります。

20年前と今を比べると、全く違った生活を送っており、体力的にも大きな変化を感じています。テニスをしていて体力が落ちたことを痛感します。本当に20年間という年月の重さを感じずにはられません。私はこの支部会に出席するようになってまだ3年目を迎えるところです。恥ずかしながらこれまでの支部会の歴史については何も知りません。ただこのように20周年を迎えられるのは多くの先輩先生方の努力の賜だと思えます。今度、30周年の時には何か一つでもこの支部会での思い出について書ければと思います。

今回は私の心に残っている言葉をいくつか書かせて頂きます。

1. 臨床とナンパはきまめが一番

臨床では頭の良い医者が患者から慕われ、いい先生と言われるとは限らない。ナンパでもハンサムな男がもてるとは限らない。臨床でもナンパでも相手をいつも気にかけていることを表現することが大切であり、相手のために労をいとわず尽くす優しさがあれば、十分に任務を果たすことが出来るし、もてるということ。

2. カンニングが大切

自分では正しいと思うことでも、行動を起こす前に他の人、特に上の先生に相談しておけという意味。そうすることによって違った考え方や見方も生まれてくるということ。

3. 口は性器なり

口は摂食、発語からセックスまで人間の基本的動作すべてを司り、口腔内には社会的地位、経歴、IQの程度、最近のセックスの状況などが反映されている。それを読み取る事が出来なければ口屋（つまり歯医者）ではない。

今までの人生で耳にした言葉で、心に残っている言葉は他にも沢山あります。言葉とは素晴らしいものだと思います。たった一つの言葉を聞いて、自分の考え方や行動が大きく変わったりもします。これからもいろんな人々と出会い、多くの経験を積み、多くの言葉を耳にして一人の人間として成長し続けていけたらと思います。

歯25期 長谷川 孝



今回寄稿させて頂くにあたり、ふと振り返ると卒業して11年、あっという間に過ぎている事に気がきます。

入学時、荷物一つで圭友会館の門をくぐったあの日、3畳程の小さな部屋、そして今までに体験した事のない寒さに、盛岡到着後1時間でホームシックにかかった事を思い出します。

時が経つにつれ盛岡の良さを実感し、私に色々なものを教えてくれた街、忘れられない第二の故郷となりました。

卒業の年の1月17日、阪神淡路大震災で、帰らないはずの西宮へ帰る事になり私の歯科医師としての方向性も大きく変わった様に思います。卒後4年で早くに院長交代をし、歯科医師会では同世代の先生がおられませんでしたので、何かと心細かったものでした。そんな時、西宮で開業しておられた菊池先生、高島先生、それに柳先生に食事に誘って頂き、京都まで御一緒させて頂いたことがありました。同窓の力というのは世代を超えて、すごく頼もしく思えました。

そんな事からも岩手という同じ地で学び、遊んだ同窓生が集うこの岩手医大歯学部同窓会兵庫県支部の今後の更なる発展を願います。

「20周年を迎えるにあたって」

歯26期 中 東 航



卒業してから10年。月日の流れが速く感じる今日です。

盛岡の学生時代は硬式テニスに明け暮れる毎日でした。といっても寒い地方で雪も降るため、4月から10月の半年くらいが活動期間でした。冬になると、スキーをしたり、友人の家に集まり鍋を囲み酒を酌み交わし、話は尽きませんでした。四季折々、色々と学ばせて頂きました。

10年も経ちますと、開業、結婚、出産とそれぞれの人生の節目を迎えており、なかなか会するのが難しくなってきましたが、同窓生の卒業後の頑張りを風の便りで聞きますと自分自身も嬉しくなり励みになります。

この度、兵庫県支部設立20周年記念を迎えるに際し、大変喜ばしいことと思います。今後益々、多くの会員を輩出し、活動も盛んになり有意義な会であって欲しいと願っております。



「歯科医療センター」

会 員 名 簿

(平成19年 3 月現在)

岩手医大歯学部同窓会 兵庫県支部名簿 2007年3月

No.	氏名	卒業	〒	勤務先	電話	ファックス
1	加子 大二郎	2期	577-0803	東大阪市下小阪4-12-3 日本歯科学院専門学校	06-6722-5601	06-6722-5603
2	阿曾 寿尚	3期	671-2577	宍粟市山崎町山崎 130 阿曾歯科医院	0790-62-0316	同 左
3	姫野 俊昭	3期	673-0866	明石市朝霧町 3-15-12 ひめの歯科医院	078-917-0118	078-917-0363
4	柏原 敬博	4期	676-0827	高砂市阿弥陀町阿弥陀 1141-1 柏原歯科	0794-48-5135	0794-47-1116
5	菊池 史郎	5期	663-8143	西宮市枝川町 12-1 菊池歯科医院	0798-49-1633	同 左
6	高島 慎一	6期	662-0976	西宮市宮西町 3-32 高島歯科診療所	0798-36-7111	同 左
7	平瀬 達次郎	6期	653-0875	神戸市長田区丸山町 2-2-13 平瀬歯科医院	078-641-6933	078-641-6934
8	安田 清次郎	6期	666-0261	川辺郡猪名川町松屋台 3-2-11 安田歯科	0727-66-1332	0727-66-1322
9	木田 啓章	7期	675-0101	加古川市平岡町新在家 2-270-12 木田歯科	0794-26-6500	0794-26-9169
10	宍戸 秀行	7期	671-1201	姫路市勝原区下太田 325-3 宍戸歯科医院	0792-74-3800	同 左
11	鈴岡 隆	7期	651-1132	神戸市北区南五葉 2-1-33 スズオカ歯科	078-593-9906	同 左
12	平田 亨	7期		(平成13年8月11日 逝去)		
13	三池 賢二	7期	664-0027	伊丹市池尻 1-12 三池歯科医院	0727-77-0595	同 左
14	松川 啓一	8期	665-0024	宝塚市逆瀬台 4-2-1 松川歯科医院	0797-74-6568	同 左
15	柳 治夫	8期	662-0832	西宮市甲風園 3-3-3 やなぎ歯科医院	0798-67-8841	0798-64-0387
16	浜口 雅明	10期	656-2223	津名郡津名町生穂 1822-9 浜口歯科医院	0799-64-0688	0799-64-1696
17	安藤 雅文	17期	674-0063	明石市大久保町八木字北屋筋170-1 安藤歯科	078-934-6001	同 左
18	坂井ひろみ	17期	652-0014	神戸市兵庫区下三条町 8-15 坂井歯科医院	078-578-8117	078-578-8114
19	坂井 諭	18期		同 上		
20	杉本 光昭	18期	669-1348	三田市つつじヶ丘北 2-2-6 杉本歯科医院	0795-68-0005	079-568-1335
21	杉本 佐知子	18期		同 上		

No.	氏名	卒業	〒	勤務先	電話	ファックス
22	山崎 学	18期	651-1131	神戸市北区北五葉 1-6-29 山崎歯科医院	078-591-6561	同 左
23	林 祐介	20期	651-2217	神戸市西区月が丘 5 丁目 1-14 林歯科医院	078-995-4180	同 左
24	有本 真也	22期	651-2211	神戸市西区押部谷町栄 329-1 ありもと歯科	078-998-3555	078-998-3553
25	橋本 誠一	24期	675-0077	高松市松陽 4 丁目625-3 橋本歯科医院	0794-49-5888	0794-49-5889
26	鎌田真砂史	25期	676-0018	高砂市荒井町若宮町 5-15 カマダ歯科	0794-43-6270	同 左
27	熊谷 洋一	25期	664-0027	伊丹市池尻 2 丁目 376-1 くまがい歯科	072-775-5432	072-775-5433
28	長谷川 孝	25期	662-0832	西宮市甲風園1-3-3 長谷川歯科医院	0798-67-8660	同 左
29	村松 弘康	25期	662-0954	西宮市上葭原町 5-22 むらまつ歯科	0798-38-4443	0798-38-4446
30	中東 航	26期	651-1111	神戸市北区鈴蘭台北町 2-8-6 中東歯科	078-595-1801	同 左
31	安藤 浩司	26期	675-0151	加古郡播磨町野添 1656-1-2F 安藤歯科	078-949-0560	078-949-0513
32	飛田 順平	27期	657-0028	神戸市灘区森後町3-1-18 うしじま歯科	078-821-9800	
33	田中 宏幸	27期	662-0871	西宮市愛宕山 10-34 ヒロデンタルクリニック	0798-75-6220	0798-75-6221
34	桜根誠一郎	29期	657-0036	神戸市灘区桜口町 2-2-10-1F さくらね歯科	078-846-6655	078-846-6551
35	植木 宏明	29期	669-3572	氷上町谷村字町西 1685-4 植木歯科医院	0795-82-6609	同 左

岩手医科大学歯学部同窓会兵庫県支部 会則

(昭和61年9月制定・平成18年10月改訂)

第1章 総 則

第1条 (名 称)

本会は岩手医科大学歯学部同窓会兵庫県支部と称する。

第2条 (目 的)

本会は会員相互の親睦を旨とし、岩手医科大学圭陵会の目的に基づき、地域医療の向上達成の為の一翼を担うこととする。

第3条 (事 務 局)

本会の事務局を専務理事の診療所内に置く。

第2章 会 員・役 員

第4条 (会 員)

本会の会員は、岩手医科大学歯学部卒業生で兵庫県に開業もしくは、勤務する者より構成される。

第5条 (会員の義務)

本会の会員は所定の会費を納入する。

第6条 (役 員)

本会に次の役員を置く。

会長1名 (理事)

副会長若干名 (理事)

理事若干名

以上の役員は理事会を構成し本会の目的を達成する為の会務を協議執行する。

(監事2名)

第7条 (顧 問)

本会に顧問を置くことができる。

顧問は会長が推薦し総会の議決により定める。

第8条 (選 出)

会長は総会において会員の互選により選出され、他の役員は会長の指名による。

第9条 (任 期)

役員任期は4月1日から2年間とし再任を妨げないものとする。

第3章 会 議

第10条 (総 会)

本会は年1回の定期総会を開催する。但し臨時総会は必要に応じ、会長が開催することができる。

第11条（総会の成立）

総会は会員の過半数により成立する。但し、委任を認める。

第12条（総会の議事の決定）

総会の議事は出席者の過半数をもって決定し、賛否同数の場合は議長の決するところによる。

第13条（総会の議事）

総会において次に掲げる事項を決議する。

1. 各年度の予算及び決算
2. 役員会より提出せる議案の審議
3. 会員より申請せる議案の審議
4. 会長の選出
5. 会則の変更、その他

第14条（役員会）

役員会は、会長、副会長、理事によって構成され、総会に附議すべき議案を立案する。又、会則に定める事項を行うほか、総会の権限に属する事項以外の事項を議決し、かつ執行する。

第4章 会 計

第15条 本会は、入会金及び会費その他により運営される。

年会費 12,000円

特別会費は必要に応じこれを徴収する。

但し、勤務会員は2分の1

第16条 本会の会計年度を4月1日から翌年の3月31日までとする。

第17条 会計検査は、年度末に2名の監事によりこれを行う。

第5章 附 則

本会側に規定されない他の事項は附則によりこれを定める。

役員紹介



支部長
姫野 俊昭
(歯3期)



副支部長
菊池 史郎
(歯5期)



副支部長
平瀬達次郎
(歯6期)



会計理事
鈴岡 隆
(歯7期)



庶務理事
柳 治夫
(歯8期)



専務理事
坂井 諭
(歯18期)



会計理事
有本 真也
(歯22期)



学術理事
長谷川 孝
(歯25期)



広報理事
村松 弘康
(歯25期)



学術理事
田中 宏幸
(歯27期)



監 事
阿曾 寿尚
(歯3期)



監 事
宍戸 秀行
(歯7期)

時代の最先端に即対応！

一般材料・機械・輸入品

最新情報・サービス・アフターケアを常にお届けいたします



株式会社 青木歯科商会

本社 〒665-0837
神戸市灘区原田通 2-5-13
TEL 078 (801) 5431 (代)
FAX 078 (871) 5076

明石営業所 〒651-2133
神戸市西区枝吉 4-191-4
TEL 078 (929) 1366 (代)
FAX 078 (929) 1393

MIHARASHIKEN



審美歯科専科

アートを感じる造形・色彩・機能回復

インプラント上部構造全般承ります

最新技術 (CAD/CAM) によるメタルフリー
＜インセラム＞、純チタンMB、ハイブリッド
なども製作しております

<http://www.mihara-lab.jp>
e-mail: info@mihara-lab.jp

株式会社 **三原歯研**

〒657-0051 神戸市灘区八幡町2-7-16
Tel: 078-821-3331
Fax: 078-851-2626

大阪営業所: 06-6336-2980

◎日立特約店



東和ハイシステム株式会社

本社◎岡山市今2丁目2-9

代表電話 086-243-3003

FAX 086-243-6838

ホームページ

<http://www.towa-hi-sys.co.jp/>

E-mail ths-info@towa-hi-sys.co.jp

親しまれ、愛され、信頼されて 日立とともに21世紀を躍進！

電子カルテシステムの研究開発一筋
お客様の満足が私たちの喜び

私たちは、

Best Solution Partner

●地域密着の完璧なサポート体制

サポートなくして販売なし、地域密着の「即行く、即やる」のサポート体制。特に電子カルテは即対応が絶対必要。

●全国で初めての互助会(HMG)

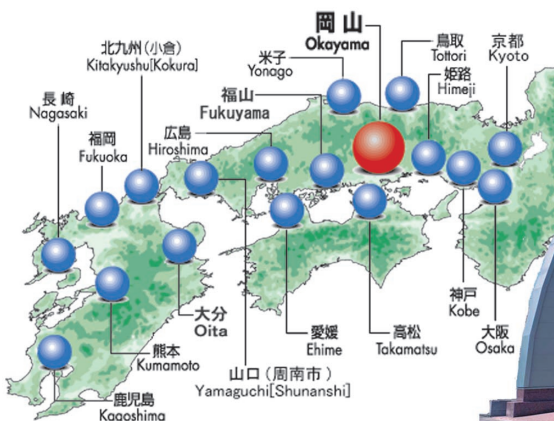
ユーザーの先生方が任意で設立された互助会組織です。少しでも安く、経費のかからない方法で電子カルテシステムを使っていくことを目的として設立されました。他社のように年額10万前後の保守料は当社には必要ありません。会の運営は先生方が行い、当社が事務局です。

●ご要望を、ソフト開発に活かす製販一体の専門企業

歯科システムの研究開発から販売・サポートまで一括で手がけ、使い勝手のよさを追求し、進化を続ける企業、それが当社です。

「即行く、即やる」信頼のサポート体制

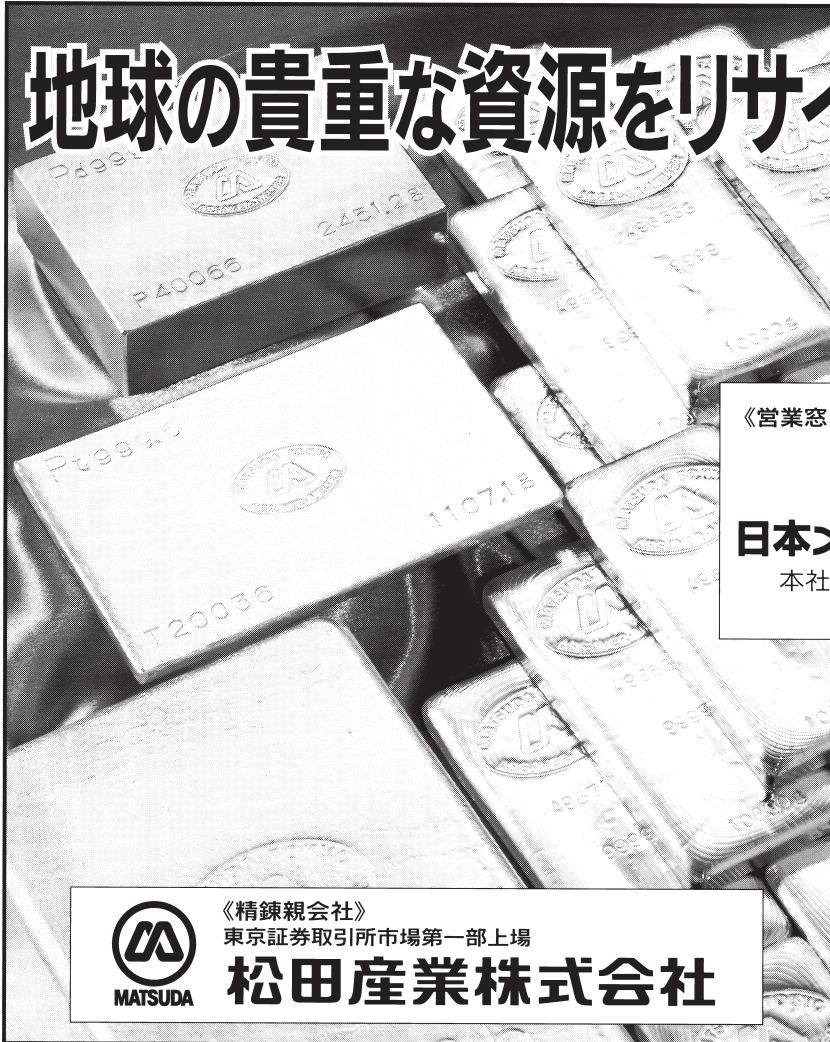
日本一の電子カルテシステムの開発に挑戦。



岡山本社⇒



地球の貴重な資源をリサイクルして次世代へ



〈取扱品目〉
撤去冠、研磨屑、キャスト屑、
集塵機粉、産業廃棄物

《営業窓口会社》

JMT

ジェイ・エム・ティ

日本メディカルテクノロジー株式会社

本社：〒176-0014 東京都練馬区豊玉南2-20-3

☎ 03-3993-2211

営業所：仙台、東京、横浜、静岡、大阪、福岡

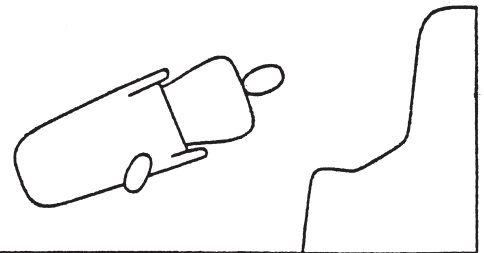
- 東京工業品取引所において、金・銀・白金・パラジウムの4品目が、受渡供用品並びに指定鑑定業者として認定
- LPPMでのプラチナ・パラジウムの市場指定荷渡品の認定
- LBMAでゴールド・シルバーの市場指定荷渡品の認定
- 日本金地金流通協会正会員



《精錬親会社》
東京証券取引所市場第一部上場

松田産業株式会社

Dental
Office
Planning



歯科機械
材料・薬品
輸出品

山田歯科商会

神戸市兵庫区水木通5丁目2-13
TEL (078) 575-0747代
FAX (078) 575-0203

岩手医大学歯学部同窓会
兵庫県支部20周年記念誌

発行 平成19年3月

編集 20周年記念誌編集委員会

発行者 岩手医大歯学部同窓会 兵庫県支部

印刷所 日昌印刷株式会社

〒650-0801 神戸市兵庫区中道通4丁目2番3号

電話 (078) 575-3908

F A X (078) 577-9663

岩手医科大学 校歌

土井晩翠 作詞
山田耕筈 作曲

一、ああ生々の 徳のあと

天地の光 人界の

喜び仁の 術はあり

病める弱れる 悩めるを

救わん 仁の術ここに

二、奥羽のもなか 杜の陵

中に今見る 我が校舎

高き尊き 天職を

かしくみうけて 幾百の

健児学びの 窓による

三、心を治め 技を練り

日々向上の 一途に

わが青春の 血ぞ熱き

三たび肱折る 法のあと

見よ杏林の 風薫る

四、ああわが健児 昔より

知の一切を 料として

進み来たりし 道により

人類愛の 名によりて

世に光明を照らしめよ



校章の由来

「医」(えい)と「大」(みこ)の会意文字と大学の「大」を図案化したもので、医は医術、巫は神意をうけた治療者である。これは医療の起源の古さを示すと共に、医学者の心構えの重大さを強調する建学の精神をこめたものである。